



強化液（中性）消火器（蓄圧式）
LOADED STREAM FIRE EXTINGUISHER YNPFシリーズ

機械泡消火器/ファイティングフォームA（蓄圧式）
MECHANICAL FOAM FIRE EXTINGUISHER YFFシリーズ

水（浸潤剤等入り）消火器/アクアシューター（蓄圧式）
WATER FIRE EXTINGUISHER YWシリーズ

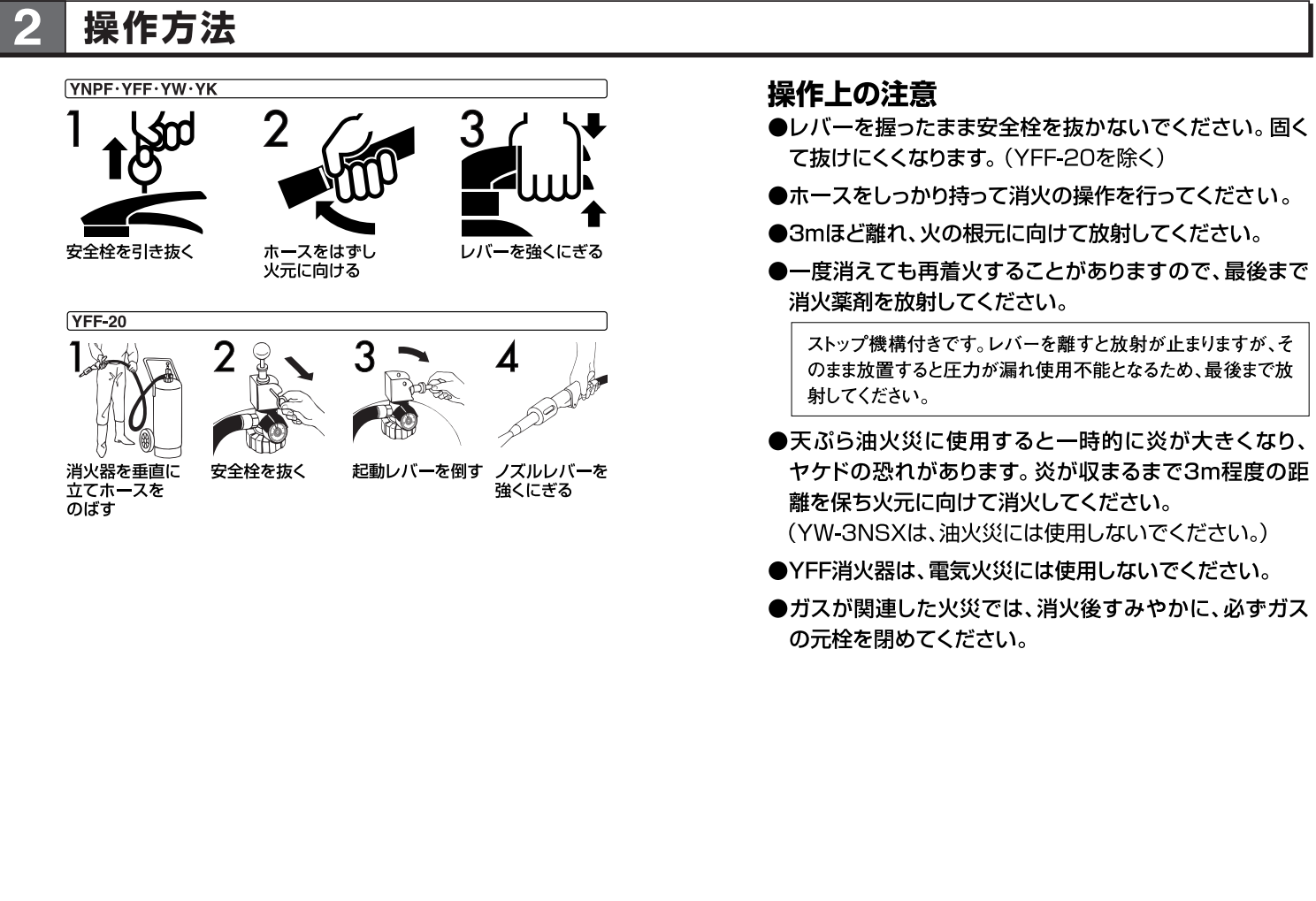
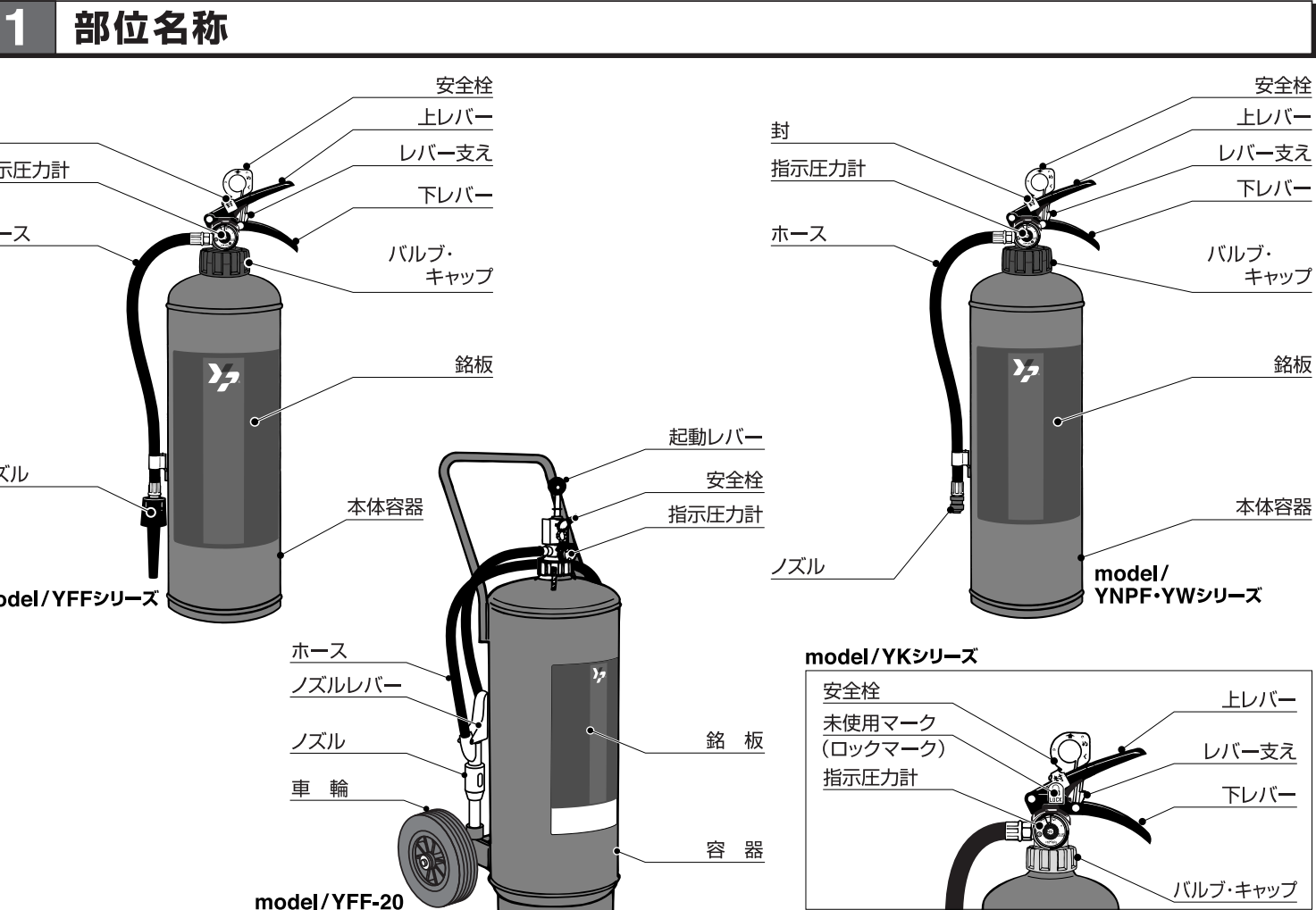
強化液消火器/ローデットスーパー（蓄圧式）
LOADED STREAM FIRE EXTINGUISHER YKシリーズ

国家検定合格品

取扱説明書

- 説明書は必ず読んでください。
- いつでも読めるところに保管してください。

危険防止について
消火器はすべて国家検定に合格していますが、設置条件の悪いものや年数の古いもの、あるいは、誤った取扱いなどによって事故が発生する場合があります。
この『取扱説明書』の「危険」「警告」「注意」の事項は必ず守り、身近な防災器具として、いつでも使用できる状態にしておいてください。



ヤマトプロテック株式会社
ビル防災設備 プラント防災設備 避難警報設備 各種消火器

本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.03-3446-7151 (代)・FAX.03-3446-7160
大阪事業所 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.06-6976-0701 (代)・FAX.06-6976-0802
名古屋支社 〒462-0032 名古屋市北区辻町5-58 TEL.052-914-2381・FAX.052-914-2435
札幌支店 〒065-0027 札幌市東区北27条東19丁目1-1 TEL.011-780-1700・FAX.011-780-1701
仙台支店 〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町6-1 TEL.022-287-9531・FAX.022-287-9534
さいたま支店 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-68 TEL.048-652-1345・FAX.048-652-1321
横浜支店 〒241-0031 横浜市旭区今宿西町426-1 TEL.045-954-4411・FAX.045-954-4422
静岡支店 〒422-8005 静岡市駿河区池田231-1 TEL.054-263-0119・FAX.054-262-7741
広島支店 〒733-0005 広島市西区三滝町7-4 TEL.082-237-4625・FAX.082-239-3859
松山営業所 〒791-1102 松山市来住町1477-1 TEL.089-956-2101・FAX.089-956-1310
福岡支店 〒812-0893 福岡市博多区那珂5-7-12 TEL.092-411-4224・FAX.092-411-4229

大阪工場・東京工場・中央研究所・関東物流センター・リサイクルセンター

●この商品についてのお問い合わせは、ご購入の販売店または当社ナビダイヤルへ…

お客様相談窓口
0570-080-100 受付時間:平日9:00～17:00

※本書に掲載した商品は改良などのため、予告なく規格・仕様変更等を行うことがありますので、ご了承ください。 1008-1

3 消火薬剤、及び詰め替えについて

- 消火薬剤に著しい毒性はありません。しかし大量に人体にかかると危険な場合がありますので、ご注意ください。
- 消火薬剤が目に入ったときは、すぐに流水で15分以上洗い流したあと、眼科医の診察を受けてください。
- 飛散した消火薬剤をそのまま放置しておくと、金属類を腐食させることがあります。すみやかに水で洗い流して、清掃してください。
- 消火器使用後の薬剤の詰め替えは、お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者（消防設備士）によって行ってください。
- 訓練に使用するなど、何度も詰め替えをする消火器の使用限度は10回です。それ以上詰め替えするときはキャップ、口金のネジ部が傷んで危険なことがあります。お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者の判断を求めてください。



■環境に配慮した、非PFOS処方
国際的に規制が進んでいる、有機フッ素化合物（PFOS類）を含有しておりません。

◎YKシリーズの消火薬剤に毒性はありませんが、強い**アルカリ性**をもつ薬液のため、誤った使い方をすると、効力不足や重篤な事故の原因となります。下記の注意事項をよく読んで正しくご使用ください。



粉末消火薬剤や洗剤等と混ぜないでください。

- 粉末消火薬剤やりん酸塩類を含む洗剤（住居用洗剤・衣料用洗剤）等と混ぜると、直ちに人体に影響を及ぼす濃度ではありませんが、**アンモニアを含む刺激臭が発生します**。粉末消火器や粉末消火薬剤を使用した装置・設備等と同時に使用することは避けてください。万一薬剤が混合した際は、発生気体（鼻にツンとくる刺激臭があります）を直接吸入しないよう注意し、換気してください。また、消火後に飛散した消火薬剤は、洗剤等を用いずに流水で洗い流してください。



人体にかからないよう注意してください。

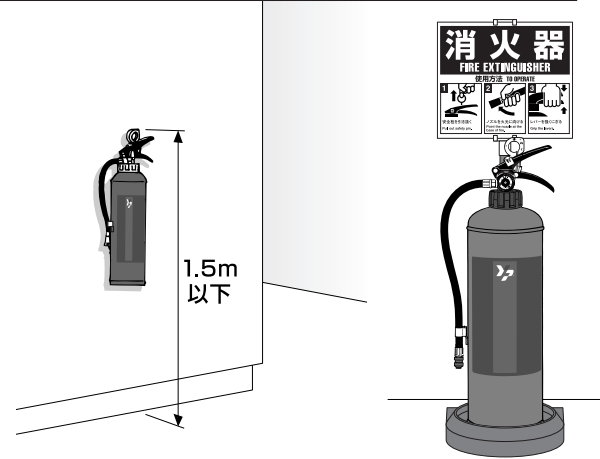
- 万一目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗い流した後、直ちに本品が炭酸カリウムを主成分とするアルカリ性の薬液であることを眼科医に告げて、診察を受けてください。
- 皮ふについたときは、流水で十分に洗い流し、異状がある場合は速やかに専門医（皮膚科）の診察を受けてください。

家具や物品にかからないよう注意してください。

- アルカリ性のため、金属や繊維に対して著しい腐食性があります。薬液が食器・家具等の調度品や建具・貴金属などに触れると、材質によっては腐食や褪色をきたすことがありますので注意してください。金属や繊維に付着した際は、速やかに清水で洗い流してください。

目に入った後の処置が遅れたり適切でなかった場合、**失明や視力低下のおそれがあります**。

4 設置について



- 電気火災が[適]となっている消火器でも、高電圧の電気設備のあるところには設置しないでください。消火活動中に感電する恐れがあります。
- 簡単に倒れないようにして、目につきやすい場所の高さ1.5m以下に設置してください。
- 地面に直接設置すると、サビやキズが発生したり変形の原因になりますので、設置台または格納箱をご使用ください。壁掛け金具や設置台については、販売店または当社営業所にお問い合わせください。
- 消火器の転倒事故や誤放射を防止するために、幼児の手の届かない場所に設置してください。
- 重量物の落下などによる強い衝撃が加わらない場所に設置してください。

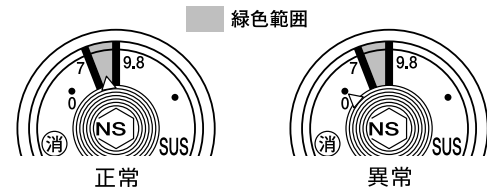
5 日頃の管理

- 試し放射は絶対にしないでください。放射後そのまま設置されますと火災の際に使用できません。
- 一度でも操作したら、ただちに消火薬剤を詰め替えてください。（3を参照）
- 定期的に点検し、ゴミやホコリを取り除いてください。
- 安全栓がレバー支えまたは、起動レバーを立てた状態で確実にセットされ封がほどこされているかを確認してください。
- 封のないもの、封が破れているものは専門の業者による点検が必要です。
- [蓄圧式]ですので、指示圧力計の指針が緑色範囲内にあるか、定期的に点検してください。

指示圧力計（ゲージ）

指針が緑色範囲内[7.0～9.8(×10⁻¹MPa)]にあるか確認してください。

※圧力が低下していると十分な能力が発揮されず、放射されない場合があります。



- 消火器を清掃するときは、ぬるま湯か水でしぼった布（ぞうきんなど）で汚れをふき取ってください。水を直接かけて洗うと、すきまなどに水が入りサビや腐食の原因になることがあります。また、有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）や洗剤等は使用しないでください。
- 消火器の部品などは、絶対にゆるめたりしないでください。

*一般の住宅には消火器の設置・点検義務はありませんが、自主設置された場合も、5年を目安に専門業者か、当社営業所での点検をおすすめします。また、法的設置義務のあるところでは、消防法に基づく定期点検を受けてください。

6 ご使用上の注意

消火器は圧力容器です



- サビ・キズ・変形・キャップのゆるみのあるものは、絶対に使用しないでください。容器の破裂等により、重大な人身事故発生の恐れがあります。



- 人に向かって絶対に放射しないでください。呼吸困難など危害発生を招く恐れがあります。
- 法で定められた点検を定期的に行ってください。ご家庭でも5年を目安に点検を行ってください。製造年から8年の耐用年数を過ぎたものは使用しないでください。



- 高温多湿の場所は避けて設置してください。
- 床面に直接設置すると、容器のサビの原因となるため、設置台または格納箱を使用してください。
- 消火器は初期消火の器具です。消火範囲に限りがあります。
- 適応火災は銘板の表示マークでご確認ください。燃焼物によって適・不適があります。
- 火元に近すぎるとヤケドの恐れがあります。距離をおいて消火活動をしてください。
- 回収された消火器の部材はリサイクルされます。不用になった消火器を処分する場合は、必ず販売店か製造元にご相談ください。